

福祉サービス第三者評価結果

事業所名 キンダーガーデンこぼと

ソキウスコンサルティング株式会社

第三者評価結果

事業所基本事項

別名	シャカイフクシハウジン シンコウカイ キンダーガーデンコバト
事業所名 (正式名称を記載)	社会福祉法人 新考会 キンダーガーデンこばと
事業所住所	神奈川県厚木市旭町3-7-3
最寄駅	小田急線 本厚木駅
事業所電話番号	046-230-6333
事業所FAX番号	046-220-6334
事業所代表者名	施設長 湯浅 房子
法人名及び 法人代表者名	法人名 社会福祉法人 新考会 法人代表者名 理事長 湯浅 陸夫
URL	http://www.shinkou-kai.jp/
問合せ対応時間	7:00 ~ 20:00

事業所の概要1

開設年月日	平成17年
定員数	70名
都市計画上の用途地域	
建物構造	鉄筋コンクリート造
面積	敷地面積 (366.83) m ² 延床面積 (487.89) m ²

事業所の概要2 (職員の概要)

総職員数	22名
うち、次の職種に 該当する職員数	施設長 (1名) 保育士 (18名) 保健師・看護師 (名) 栄養士 (1名) その他 (調理員 2名 事務員等 名 用務員 名)

事業所の概要3 (受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	0歳 ~ 5歳	
延長保育の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	備考:
休日保育の実施	<input type="radio"/> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	備考:
一時保育の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	備考:
障害児保育の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	備考:

保育方針

地域の保育に欠ける乳幼児を受託保育し、乳幼児の一人一人の人格の健全育成を日々の保育を通じて培い、人の気持ちの分かる優しい心、頑張れる強い意思、創造性豊かな心情を育てることを保育目標として最低基準を遵守し、地域からも信頼される保育園づくりをする。

第三者評価結果

1. 総合コメント

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

<優れている点>

- 1 保護者との信頼関係を築き家庭とのコミュニケーションを大切にしたり取り組みをしています。

保護者との連絡帳を使い子育ての不安や悩みなど言葉にできない心の内を打ち明けやすいように工夫しています。

年3回のクラスだより、毎月の園だよりを配布して常に保護者への情報提供に努めています。

日頃から声をかけやすい雰囲気づくりをし、保護者の気持ちが落ち着かない時には園から声をかけ落ち着いてもらえるようにしています。

早め早めの情報提供と発達について入園時の丁寧な対応で保護者からの相談や個別面談の申込みが増えています。長年の経験と積み上げで、声をかけやすい雰囲気を大切にしています。

保護者の申し出により特に配慮の必要な子どもについては早めに専門機関と連携し、早期療育支援を取り入れ、保護者の不安を取り除けるよう、丁寧な取り組みをしています。

- 2 子どもの豊かな心を育む保育に取り組んでいます。

保育目標に「人の気持ちの分かる優しい心、頑張れる強い意思、創造性豊かな心を育てる」ことを掲げています。

外国籍の子どもには特別扱いすることなく子ども同士のかかわりを大切にしています。障害のある子どもには視覚的な教材を使用したり、仲の良い子どもや異年齢の子どもと一緒に行動することで安心して過ごせるようにしています。

音楽会や陶芸教室など行事の中にも創造性豊かな心を育てる保育に取り組んでいます。

<独自に工夫している点>

- 1 食育に関して様々な取り組みをしています。

畑でさつまいも、玉ねぎ、じゃがいも、きゅうり、なす、トマト、バケツ稲でお米を作り、収穫を体験することによって、自分で作って自分で食べる喜びを育てています。

給食は、塩分少な目で素材の持ち味を生かし、よく噛んで食べることに配慮した献立になっています。栄養価も考慮した上で玄米や五穀米の日をつくり、よく噛んで甘みを感じてもらえるようにしています。味付けには砂糖もなるべく使わないようにしています。食の安全・安心のため食材の産地を献立と一緒に掲示しています。

- 2 事故後の再発防止策について徹底した取り組みをしています。

園児の怪我などの事故報告書がきめ細かく丁寧に記載され一目で誰が見てもわかるように工夫されています。

<改善すべき事項>

- 1 災害発生時の地域支援体制については、今後より一層の取り組みを期待されます。

災害発生時に地域との連携は現在取り組み中ですが、今後は災害時のマニュアルの整備、地域との避難訓練など積極的に実施することが期待されます。

評価領域ごとの特記事項

1	人権への配慮	<p>① 保育目標に一人一人の人格の健全育成を日々の保育を通じて培い、人の気持ちの分かる優しい心、頑張れる強い意思、創造性豊かな心情を育てることを掲げています。 マニュアルを整備し職員全体で読み合わせを丁寧に行っており、新人職員には、保護者への挨拶の仕方、言葉遣いから研修をしています。 また、子どもに対しては、家庭でのあだ名や、呼び名では声をかけないようにしています。園の中では「さん」づけで声をかけ、園だより、クラスだよりに子どもを記載するときにも名前には、「さん」づけをしています。</p> <p>② 国籍などによる差別がないようにマニュアルを整備しています。職員会議で日頃から話し合い、差別禁止に対する意識を高めています。新人研修、全体研修を計画的に行い、細かな部分については、随時職員会議で議題にあげるようにしています。保護者とのやりとりで問い合わせが増えていきます。早めの手当と長年積み上げた経験を合わせ、様々な工夫をしています。</p> <p>③ 厚木市児童相談所が近くにあるため気になる子どもを発見した時はもちろん、日ごろから連携しています。 午睡時に園児の身体チェック、登園時に表情のチェックを行い、早期発見に努めています。出席簿に虐待の恐れがあるチェックリストを設けることによって、職員全体にいきわたるようにし、虐待の恐れのある保護者に対しては、すぐに声をかけるようにし、虐待防止に努めています。</p>
2	利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援	<p>① 家庭とのやりとりはマニュアルを整備し、すべてのやりとりを記録し、職員全体で把握しています。毎日の連絡帳、行事への参加、クラス懇談会を年1回、保育参観を年2回、個別面談を通じて家庭との連携を大切にしています。</p> <p>② 保護者の意向を定期的に保育に取り入れ、保育の改善に向けた取り組みに努めています。 家庭の希望を書面に残し、きめ細かな対応をしています。クラス担任が意見を聞き、職員会議で全職員に周知することを徹底しています。 日頃から、保護者が声をかけやすいように、保護者の送り迎えの時の声かけを積極的に行っています。</p> <p>③ 乳児クラスでは、月齢や発達に応じてグループ分けをし、児童票などの個人記録を細かく記載しています。 会話を多く取り入れ、行事などは子どもと話し合いをし、一緒に創り上げることによって子どもの情緒の安定をはかっています。</p> <p>④ 園内では全クラスはだし保育を取り入れ健康な体づくりを目指しています。 戸外での活動を多く取り入れ近隣の公園などに毎日散歩へ行っています。公園や神社で鉄棒やジャングルジムを使用して遊んだり、畑でお米、ジャガイモ、サツマイモ、玉ねぎ等を苗植えから収穫までしています。</p>

		<p>⑤ 年長児は英語レッスン、楽器の演奏、体操を行っています。英語レッスンでは、英語の歌やゲーム、絵カードを楽しみながら、楽器演奏ではピアノを使用しながら、体操では、マット運動や平均台等を利用して行っています。</p> <p>⑥ 高齢者施設へ訪問し交流する機会を設けています。</p> <p>⑦ 毎月の栄養士による話やクッキング等を取り入れた食育に力を入れています。日中活動で、十分に体を動かしてお腹がすいたことを感じられるように思い切り遊んでいます。 畑で自分たちが育て収穫したものを給食で食べることにより、命の尊さも学んでいます。</p> <p>⑧ 特別に配慮の必要な子どもについては、保護者の意向も取り入れながら教材を工夫しています。 他の専門機関とも連携し保護者の申し出により早期療育支援に繋がるようにしています。</p>
3	サービスマネジメントシステムの確立	<p>① 苦情解決に関するマニュアルを整備しています。小さな苦情でも記録をし、改善に努めています。第三者委員の設置をし保護者の方への周知をしています。第三者委員との定期的な話し合いの予定はありますが、実行されていないので話し合いができるように努めてください。</p> <p>② 感染症対策のマニュアルを整備しています。保護者に対しては、流行している感染症を玄関に掲示し、その感染症の特徴が分かるようにしています。かかりつけ医から治癒証明書を出してもらい再登園してもらっています。</p> <p>③ 主治医から処方された薬しか投薬しないようにしています。投薬票を保護者から園に提出してもらっています。ケガへのマニュアルを整備しケガが発生した時はその日のうちに保護者へ連絡し、近隣の病院で診察をしてもらっています。日々、ヒヤリハットを記入し、事故後の再発防止策に努めています。</p> <p>④ 災害時のマニュアルを整備し、マニュアルにそって避難訓練、通報訓練を実施しています。日々の防犯体制については、毎日職員間での周知を徹底しています。</p>
4	地域との交流・連携	<p>① 地域の子育て家庭に向け継続的に相談支援を実施しています。</p> <p>② 地域の子育て家庭に向け行事の招待、ベビーヨガ、マタニティヨガを開催し園を解放しています。</p> <p>③ 地域の高齢者施設への訪問、消防署や商店の見学などを通して交流を深めています。 日頃から戸外への散歩で地域の方々とあいさつを交わしています。</p>
5	運営上の透明性の確保と継続性	<p>① 毎朝の打ち合わせで、保護者とのやりとりで気になる部分は、全体で周知するようにしています。 毎月の全体会議、施設長会議など丁寧な運営をしています。</p> <p>② 毎年、自己評価を職員全員で行い、自己評価の結果を保育に反映させています。</p> <p>③ 園の入り口にパンフレットを置いています。園だよりの発行、ホームページなど積極的に情報提供に取り組んでいます。</p> <p>④ 保育参加については、保護者に対して入園時に説明し、行事などへの保育参観が必ずできるように説明し、日程を年間計画で渡して案内しています。 祖父母の方々への参加もできるように案内しています。 保護者が気になるときにはいつでも行っています。</p>

6	職員の資質向上促進	<p>① 園の保育理念、方針については、外部の研修に沿って5か年計画を立て職員の質の向上を計画的に取り組んでいます。 自己評価のとりまとめでも理念について、職員全体に浸透するようにしています。</p> <p>② 新人職員に対しては、社会人としての挨拶や言葉使いなどの接遇研修に力を入れています。園外で開催する研修会には主任が受講し、職員会議などで、他の職員にフィードバックするようにしています。</p> <p>③ 実習生受け入れについては、マニュアルを整備し、マニュアルに沿って主任が担当しています。 写真撮影などの禁止事項、個人情報、守秘義務について伝えていきます。</p>
---	-----------	--

2.評価項目に基づく評価の結果

大項目1 保育環境の整備

評価機関が定めた評価項目に添って、調査を行った結果です

大項目1全体を通してのサービスの達成状況 (調査確認事項全80事項)	95%
---------------------------------------	-----

大項目1の内容(概要)

1	人権の尊重 (8事項)	① 子どもや保護者に対する態度や言葉遣い(3事項)	3/3	8/8
		② 出生や国籍、性差などによる差別の禁止(3事項)	3/3	
		③ 虐待予防や早期発見のための関係機構との連携(2事項)	2/2	
2	プライバシー確保 (7事項)	① プライバシー確保への配慮(3事項)	3/3	7/7
		② 実習生などへのプライバシー確保(3事項)	3/3	
		③ 個人情報保護の体制整備(1事項)	1/1	
3	家庭と保育園との 信頼関係の確立 (6事項)	① 家庭との連絡、情報交換の体制(2事項)	2/2	6/6
		② 家庭の意向・希望の把握(2事項)	2/2	
		③ 意向・希望の記録・管理(2事項)	2/2	
4	苦情解決システム (8事項)	① 苦情解決の担当者・責任者の公示(2事項)	2/2	7/8
		② 苦情解決の記録(2事項)	2/2	
		③ 第三者委員会に設置、実施(3事項)	2/3	
		④ 理事会への報告(1事項)	1/1	
5	環境整備 (8事項)	① 温度や湿度等の管理(2事項)	2/2	8/8
		② 洗剤等の危険物の管理(2事項)	2/2	
		③ おもちゃ、遊具等の管理(2事項)	3/3	
		④ 遊具などの安全保持(2事項)	1/1	
6	健康管理(感染症対策 ・救急救命を含む) (14事項)	① 体調不良児、けがへの対応(2事項)	2/2	14/14
		② 体調不良児への対応(2事項)	2/2	
		③ けがなどへの対応(2事項)	2/2	
		④ 感染症予防への情報提供(3事項)	3/3	
		⑤ 感染症発症時の対応(2事項)	2/2	
		⑥ 救急事態発生時の医療機関・家庭等との連携(3事項)	3/3	
7	危機管理(防災・防犯) (8事項)	① 火災や震災等の対応(3事項)	3/3	5/8
		② 日常の防災・防犯体制の整備(2事項)	2/2	
		③ 災害発生時の地域支援体制(3事項)	0/3	
8	地域子育ての支援 (6事項)	① 地域内の子育てニーズの把握と支援(6事項)	6/6	6/6
9	自己評価と情報開示 (6事項)	① 自己点検・改善活動の実施(2事項)	2/2	6/6
		② 地域への情報提供、情報公開(2事項)	2/2	
		③ 見学や保育参観の機会の設定(2事項)	2/2	
10	職員研修 (9事項)	① 理念などの職員への研修実施(3事項)	3/3	9/9
		② 年間を通しての研修計画(2事項)	2/2	
		③ 外部研修の共有化(2事項)	2/2	
		④ 実習生の受入れ、指導(2事項)	2/2	

76/80

大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>(1) 子どもと保育士 とのかかわり において、子ども の情緒の安定を はかることや、 順調な発育・発 達を促すため にどのような取 組みをしていま すか</p>	<p>① 乳児クラスでは、月齢や発達に 応じてグループ分けをして保育して いる。</p> <p>② 児童票などの個人記録をつけてい る。</p> <p>③ 子どもと話し合いをし、会話を 多く取り入れた保育をしている。 (行事など一緒に創りあげてい る)</p>	<p>① 月齢などにより、発達の違いが著 しい乳児は、小さなグループに分 けてそれぞれのグループ毎に成長 を促すような保育をしています。</p> <p>② ならし保育の頃は毎日、その後は 週に1-2回、児童票を記録して います。</p> <p>③ 日常の保育や遊びの中で、子ども たちの意見を聞くようにしていま す。特に作品展などの行事の時は、 子どもの発言から何を作るか、作 る手順なども子どもが決めるよう にしています。</p>
<p>(2) 子ども同士のか かわりにおいて、 個の違いを認め あうことや他者 と自分を大切に する心をもてる ようにするため にどのような取 組みをしていま すか</p>	<p>① 製作など自分の作品を発表する場 を設けることで、様々な作品があ ることを知り、みんな違って良い ことを伝えている。</p> <p>② お当番制や異年齢交流を通して、 互いを思いやる気持ちを育ててい る。</p> <p>③ 保育の中に話し合いの場を多く取 り入れることで、自分と他者の違 いを認識することができる。</p>	<p>① 子どもたちは制作したものをみん なの前で見せながら、説明などの 発表をして、他の子どもはその作 品について質問をします。自分の 作ったものとの違いや良い所を感 じられるように保育士は話してい ます。</p> <p>② 当番制を用い、他の子どもとのか かわりを持つようにしています。 またお店屋さんごっこなどを異年 齢のグループで行うことにより、 子ども同士のかかわりが持てるよ うにしています。</p> <p>③ 子ども同士の話合いの機会を多 く設け、自分の意見と他者の意見 が違うことを学び、お互いを認め 合うようにしています。</p>
<p>(3) 子どもと社会 とのかかわりに おいて、人に役 立つことの喜び を感じたり、人 と関わることの 楽しさを味わう ことができるよ うにするために</p>	<p>① 消防署や駅、お店の見学</p> <p>② 老人ホームへの訪問</p>	<p>① 近くの駅に行って駅員さんとの会 話を楽しんだり、ケーキ屋さんで お店の人のやり取りを見たり聞い たりしています。</p> <p>② 近隣の老人ホームを訪問して、お 年寄りにダンスを見せたり、一緒 にゲームを楽しんだりしています。</p>

大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
どのような取り組みをしていますか	③ 散歩等、戸外活動での地域の人との交流	③ 散歩に行き近所の方と挨拶をしたり、会話を楽しんでいます。
(4) 生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しむようにするためにどのような取り組みをしていますか	① 英語レッスン(年長児)講師を迎え ② 誕生会でのインタビュー ③ お店屋さんごっこ等、異年齢交流を通して言葉のやりとりを楽しんでいる。	① 言葉のやり取りの中に英語も取り入れて会話を楽しんでいます。 ② 誕生会では誕生月の子どもが前に出てお話したり、他の子からのいろいろな質問に答えています。 ③ 3歳児～5歳児で異年齢でのグループを作り、お店屋さんごっこをして、お店屋さんや異年齢の子どもとの会話を楽しんでいます。
(5) 生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか	① 休み中の経験発表をする場を設けている。 ② 絵本・紙芝居等の読み聞かせ ③ わらべうた、伝承遊びを通して言葉のやりとりを楽しんでいる。	① 土日や連休後の登園日に、朝の会でみんなの前に立って、休み中のことについて話をします。またその話を聞いた子どもたちがいろいろな質問をして答えてもらっています。 ② 昼寝の前やちょっとした空き時間に保育士が絵本を読み聞かせて、読んだ後に子どもたちに自由に感想を話してもらったりします。 ③ 子どもたちはわらべ歌や伝承遊びの先生から教えてもらって、覚えてきて、自由に遊ぶ時間で伝承遊びなどをみんなで楽しんでいます。
(6) 生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるよ	① 4, 5歳児はピアノの使用し、楽器の演奏を楽しんでいる。	① 4歳からピアノを練習して、「お楽しみ会」での発表に向けて、演奏を楽しんでいます。

大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>うにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>② お店屋さんごっこや夏祭り</p> <p>③ 体操や、身体遊び（マット運動、平均台等）</p>	<p>② お店屋さんごっこでは、自ら楽しんでお店屋さんやお客さんになりきって遊んだり、夏祭りでは思い思いの掛け声を楽しんでいます。</p> <p>③ 0歳児から小さな山をハイハイしたり、子どもたちは毎日マット運動や平均台などの体操をしています。一人ひとり上手にできたことを保育士がほめて認めて、子どもたちの喜びにつなげています。</p>
<p>(7) 生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなで一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 集団遊びでは子供たちが自分達でルールを決めて楽しんでいる。</p> <p>② お楽しみ会では、劇などを行い、表現することを楽しんでいる。</p> <p>③ 作品展や夏祭りでの神輿作り等、みんなで一緒に作り上げる喜びを感じている。</p>	<p>① 集団遊びの時など、子どもたちの発想から、既存のゲームに新しいルールを取り入れたり、今までになかったゲームを考えて遊んでみたりしています。保育士はできるだけいろいろな子どもの意見を尊重するように配慮しています。</p> <p>② 「お楽しみ会」では子どもたちが意見を出し合って、どんな劇にするか内容を決めており、小道具なども子どもたちが考えてみんなで作っています。</p> <p>③ 作品展では自由に子どもたちが作った作品を保護者の方に見てもらっています。また夏祭りでは子どもたちが協同しておみこしを制作して、おみこしの完成をみんなで喜んでいます。</p>

大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>(8) 生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 年長児の英語レッスンでは、英語の歌やゲーム、絵カード等で楽しんで行っている。</p> <p>② 公園や神社で遊具（鉄棒、ジャングルジム等）を使用して遊ぶ。又、集団遊びや散歩などの戸外活動</p> <p>③ 絵本の読み聞かせや図鑑や絵本を自由に読むことで、興味・関心を持てるようにしている。</p>	<p>① 年長児は月に3回英語の講師を迎え、英語でゲームや絵カードで遊びながら楽しんでいます。</p> <p>② 公園や神社に行き、神社の建物を見たり、木馬やジャングルジム、すべり台を楽しんでいます。散歩など戸外で見聞きするものに興味や関心を持たせています。</p> <p>③ 絵本や図鑑などを保育士が読んだり、写真や絵を見せたり、子どもたちも自由に手に取って見られるようにしています。</p>
<p>(9) 生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 散歩等の戸外活動</p> <p>② カブトムシやメダカ等の飼育</p> <p>③ 米、ジャガイモ、サツマイモ、玉ねぎ等を苗植えから収穫まで体験している。</p>	<p>① 散歩など戸外で遊ぶ時には、保育士が見つけた虫や葉を見せてあげたり、子どもたちが気付いた事象についてみんなで意見を言い合ったり、もっと発見できるように意欲を持たせたりしています。</p> <p>② 保育園ではカブトムシやメダカを飼育してその成長をみんなで観察して記録しています。</p> <p>③ 米やサツマイモを苗植えから育て、その成長を楽しみにし、みんなで収穫しています。</p>

大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>(10)</p> <p>自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 日中の活動では、十分に体を動かす遊びをして空腹を感じられるようにしている。</p> <p>② 自分達で育てて収穫したものを給食で食べている。</p> <p>③ 毎月の栄養士による話やクッキング等を取り入れた食育</p>	<p>① 思い切り体を動かして、適度な空腹が得られるようにしています。</p> <p>② 子どもたちが大切に育てて収穫したサツマイモなどを、子どもたちと話し合い給食に取り入れてもらい、食べる楽しみを感じています。</p> <p>③ 栄養士が毎月子どもたちに栄養の話をしたり、調理師さんの指導により、クッキングを楽しんでいます。</p>
<p>(11)</p> <p>身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 朝、夕の身支度や身の回りのことを自分でできるように援助しながら一緒に行っている。</p> <p>② 食事でのマナーや大切さを伝えたり、頑張っていることを褒め、意欲を高めている。</p> <p>③ 絵本や紙芝居等で分かりやすく伝える機会を設けている。</p>	<p>① 朝や帰りの身支度、午睡時の着替えなど、保育士は子どもたちができるだけ自分で行うように働きかけています。0歳児であっても自分でタオルを取れるように保育士は手伝っています。</p> <p>② 子どもが保育士の手伝いや年少児への手伝いを自らしようとしている時は、保育士はみんなの前でほめて意欲を持たせています。</p> <p>③ 食事のマナーや大切さを保育士や調理師が話しています。午睡の大切さを伝え、しっかり休息をとるようにし、眠れない子どもは目を閉じるよう促したり、離れたところで本を読むなど静かに過ごす促しをしています。</p>

大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>12-(1) 子どもの豊かな心と身体をはぐくむための特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① はだし保育</p> <p>② 年齢別の月間絵本の購入</p> <p>③ コーナー遊び</p> <p>④ 行事での縦割り保育</p> <p>⑤ 他園との交流</p>	<p>① 健康づくりとして全クラスではだし保育を実施しています。</p> <p>② 毎月1,000円で園児の年齢に合わせた絵本を購入できるようになっています。園で絵本を読み聞かせると、絵本を読んでもらいたくて子どもたちがずっと「読んで読んで」と言っています。絵本を通じて親子の時間を大切にしてもらいたい、という願いが込められています。</p> <p>③ 子どもたちが自分たちで決めて自分たちでグループを作り遊んでいます。遊びを通して自分たちで考える力を育てています。</p> <p>④ お店屋さんごっこなどの行事に縦割りのグループを作って行動します。年長児は、小さな子をいたわり、年少児は年長児の思いやりの気持ちを頼もしく思い憧れるようになります。</p> <p>⑤ はぐくみの丘保育園、キンダーガーデンやまと、あつぎこぼと、を合わせた法人4園での交流をしています。運動会、卒園式、お楽しみ会は、4園合同で開催しています。今後の合同開催は、保護者の意向を十分にくみ取るように努めてください。</p>
<p>(2) 保育環境に特別な配慮を必要とする子ども（長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児）の保育に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① 補食の提供</p> <p>② 乳児クラスのグループ分け保育</p> <p>③ 外国籍園児は、特別扱いすることなく子供同士のかかわりを大事にしている。</p> <p>④ 障害児保育では、視覚的な教材の使用。仲の良い子や異年齢児と一緒に行動することで安心して過ごせるように配慮している。</p>	<p>① 延長保育時には有料ですが補食の提供をしています。</p> <p>② 乳児クラスは、発達によってグループ分けをすることによってきめ細かな保育を実施しています。発達によって定期的な見直しを行っています。</p> <p>③ 外国籍園児は、文化の違いを認め合い、特別扱いすることなく、子ども同士のかかわりを大事にしています。</p> <p>④ 入園時に保護者の希望も取り入れ工夫をしています。保護者とは密に情報交換ができるようにしています。専門機関との連携もし安心して過ごせる環境に配慮しています。</p>

大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>(3)</p> <p>健康管理に特別な配慮を必要とする子ども（アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など）の保育に関する特徴的な取り組み（アレルギー食対応、個別食、離乳食など）について説明してください</p>	<p>① アレルギー食では、給食室との口頭での確認・ホワイトボードでの確認・クラス内での確認の三重の確認をしている。</p> <p>② アレルギー診断書と生活管理表の提出。通常食との食器の区別を絵柄皿でしている。</p> <p>③ 離乳食の個別対応（家庭主導で行い、それに合わせて提供している）</p>	<p>① アレルギー食は、給食室では調理師と保育士が口頭で食材などを伝えるなどの確認をし、ホワイトボードでも確認、クラス内でも他の保育士に再度声をかけて確認をしています。また0-2歳児はテーブルを離して食べるようにし、できるだけ同じものを食べられるように工夫しています。</p> <p>② アレルギー反応の可能性がある子どもの保護者から、アレルギー除去申請書と生活管理表を提出をもらっています。食器も絵柄の入った別のものを使用して区別しています。またアレルギー以外の子どもたちにもアレルギーの話をして理解を求めています。</p> <p>③ 離乳食は食べられる食材を保護者から書いてもらい、初めて食べる食材は家庭で試してから、問題がなければ保育園でも取り入れるようにしています。</p>
<p>(4)</p> <p>食に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① クッキング</p> <p>② 玄米や五穀米を食べる日を設けている</p> <p>③ 行事食の提供</p> <p>④ 年度末に年長児のリクエスト給食の提供</p>	<p>① 子どもたちのクッキングではなるべく砂糖は使わないように、自然の味を楽しめるようにしています。出汁にはこんぶ、にぼし、かつおぶしを使っています。</p> <p>② 玄米や五穀米を食べることにより、噛む力を養っています。よく噛むことで、玄米や五穀米の甘みを感じることができるようになっています。</p> <p>③ 四季折々の季節を感じられるように、行事食を提供しています。</p> <p>④ 年度末に年長児からのリクエスト給食を行っています。自分たちで食べたいものを決めることはもちろん、食べる量もみんなで決めて、残さないようにすることを覚えてもらっています。</p>

大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 畑での収穫体験、米づくり、給食での提供 ⑥ 食材産地表の掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 畑では、さつまいも、玉ねぎ、じゃがいも、きゅうり、なす、トマト、を季節に合わせて作っています。収穫時には、子どもたちが笑顔で「園長先生、とれたよー」と嬉しそうにしてくれています。 ⑥ 東北での震災直後より、毎月、放射能汚染に配慮し、食材の産地を保護者へ掲示して子どもたちの食の安全を心がけています。
<p>(5) 家庭とのコミュニケーションに関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 全園児連絡帳の使用 ② 掲示版の使用 ③ 必要に応じて個別面談 ④ 毎月の園だより、年3回のクラスだより ⑤ 年1回のクラス懇談会 	<ul style="list-style-type: none"> ① 全園児連絡帳を使用して毎日の様子を細かく伝えています。連絡帳を見て園から保護者がいつでも個別面談を利用できるように促しています。 ② 流行の感染症などを掲示して、どのように予防していくのかを丁寧に書かれています。保護者に対する予防への教育にも掲示板を通して熱心に取り組んでいます。 ③ 保護者の申し出により個別面談はいつでもできるようになっています。特に障害をもった子どもなど気になる子どもについては、幼児クラス時にも面談をしています。卒園前に小学校の入学に不安のある保護者の相談に対しても積極的に面談をし、早めに専門機関と連携をし、療育支援をすることによって、小学校入学に対する不安を解消させています。また、子育ての不安からイライラしてしまう保護者に対しては子どもの良いところを話し、各園での事例を交えながら、落ち着いてもらえるよう丁寧に面談しています。 ④ 毎月の園便り、年3回のクラスだよりを配布して園からの情報を提供しています。 ⑤ クラス懇談会は、年1回実施しています。

大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>(6) 地域の子育て支援に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① 一時保育事業</p> <p>② 園行事への参加（運動会、夏祭り）</p> <p>③ 音楽会、親子陶芸、給食試食会、ベビーヨガ、マタニティヨガ</p>	<p>① 一時保育は、随時実施しています。</p> <p>② 園での行事を子育て家庭に向け招待し、いつでも子育てに関する相談が受けられるようにしています。</p> <p>③ 生の音楽を聴いてもらいたいとの願いから、音楽会は地域の音楽関係の会社に協力してもらい、ホールで開催しています。昨年はタウン誌にも掲載されています。親子陶芸では、お茶碗を作ったりしています。子どもの手形をとったりして楽しんでいます。給食試食会は毎年行っています。今年はバイキング形式から一人ずつ配膳するようにしています。マタニティヨガは、講師を招いて実施しましたが、希望者は少なかったようです。</p>